

# ROYAL-TIMES



写真=4F庭園のパンジー (2024年3月1日)

## 卒業

岡 聖史  
2024年 3月 1日

3月に入ると、ようやく春の訪れを感じられるようになります。例年であれば下旬には桜が咲き始め、花粉症の方にとっては辛い季節ではありますが、暖かい陽気は気持ちも高まりますよね。

そして3月といえば、卒業という大きなイベントがあります。学生時代は、そこまで大きな節目だとは思っていませんでしたが、客観的な立場から見ると、とても尊い瞬間だと感じるようになりました。卒業の先には新たな始まりが待っているわけですから、人生における大切な節目ですね。願わくは、花粉症から卒業したいものです。

さて、今月は薬師池公園へのお散歩、ブロッコリーの収穫についてです。ご一読いただけたら幸いです。



写真=昼食 (2024年2月日)



写真= 薬師池公園 (2024年 2月14日)

## 梅の香りを求めて

平川 昌史  
2024年3月8日

当施設としましては1年を通し草花の観賞や果物、野菜の収穫や季節を感じる事が出来る食事のご提供などを通じご入居者様に四季を感じていただけるようなイベントを企画、実施しております。

長かったコロナ禍もおさまり、ご入居者様に一足早く春を感じていただきたいという思いから2月14日2組に分かれて薬師池公園への散歩のレクリエーションを実施いたしました。

日本では桜に次いでメジャーと思われ、梅について若干ご説明をいたしますと日本人に愛される梅は、寒さに耐え、桃や桜に先駆けて美しい花を開き、馥郁たる香りを漂わせることから、万葉集では桜の42首に対し118首も詠まれています。レクリエーション当日の天候について若干心配もされましたが、

皆様の笑顔のような快晴になりました。

しかし、まだ時期が早かったようで梅の花は3、4分咲の程度とのことでした。梅の香りはすでに“イキイキと”強く、春の訪れを感じることができたとのことです。

ご参加いただいたご入居者様に行かれた感想をお聞きしますと「まだ満開ではなかったけど梅の香りを感じ一足先に春も感じる事ができた。」「また季節ごとに草花などの観賞にいきたい」と笑顔でお話をいただきました。

レクリエーション担当の中易 CWに今後の活動についてお聞きしますと今後もレクリエーションのスケジュールに沿って外出のレクリエーションや飲食のレクリエーションを続けていきたいと言われておりました。今後もご入居者様の素敵な笑顔が“満開”になることを職員一同今から楽しみにしております。

## 今月のトピック

#梅の香りを求めて

#ブロッコリーの収穫

#委員会活動報告(レクリエーション係)

#お知らせ



# ブロッコリーの収穫

高橋 望  
2024年3月14日

2月某日、屋上庭園でブロッコリーの収穫が行われました。

これまで強風による倒壊や、ヒヨドリによる襲撃など、そのたびに入居者様たちと担当者が守ってきました。鳥に食べられた部分は削り取りました。すると不思議なことにブロッコリーは再び茂る姿を見せるのでした。そして次は鳥に食べられない様にと網を張って守りました。

箱いっぱい詰めたブロッコリーを見た入居者の皆様は、「大きいわね」「こんな風になるんだ」と喜びの声を上げられました。調理されたブロッコリーは、厨房からテーブルへと運ばれ、皆様の舌を喜ばせました。

その声を聞いた担当者が「次はジャガイモにしましょうか」と提案すると、入居者様たちから「良いわね」「楽しみ!」との歓声が広がりました。

職員一同にとって一番の収穫は、入居者様たちの笑顔と喜びの声です。これからも皆様の心を豊かにする活動を続けて参ります。



写真=ブロッコリー収穫の様子(2024年2月15日)

## VOICE

2024年 3月 1 日

・皆様こんにちは。少しずつ暖かい日が増えてきましたが、いかがお過ごしでしょうか。私はロイヤルでの仕事が長くなり、ご入居者様やご家族様にも知られた顔となりました。これからも、皆様へ質の高いサービスが提供できるよう、他職員と共に努めさせていただきます。よろしくお願いいたします。



・皆様こんにちは、リハビリの職員でございます。徐々に春らしくなってきましたので、外を歩いたり外気に触れる事で季節を感じられるようになりました。年間行事の数や種類もコロナ前に近いものとなりました。そちらでも皆様と関わられたらと思っています。今後ともよろしくお願いいたします。



## 振り返り

岡 聖史  
2024年 3月 1日

エビデンスという言葉が医療業界に導入されたのが1990年代後半、今や領域を超えて社会に浸透しています。一方、「データや証拠が必須」という誤った解釈がなされていることがあります。近年の介護業界でも科学的介護を進める動きがありますが、介護の根幹は「その人らしい生活の支援」です。これを実現するには「価値に基づいた実践」が最優先であり、これを可能にする制度や体制づくりが介護業界に急務ではないでしょうか。

### ユニホームが変わりました

ロイヤルホームでは職種ごとにユニホームの色をかえています。2024年3月1日から新しいユニホームになりました。看護師=赤、介護士=紺、レクリエーション担当=水色、リハビリ=黒、事務=グレーとなりました。事務職以外のズボンは白に統一されました。皆さんはどの色が好みでしょうか?

← 写真=(2024年3月15日 歓迎会の様子)

## 委員会活動報告 (レクリエーション)

中易 宇功  
2024年 3月 1日

レク担当の中易です。基本的には一人で各階を回り、音楽レクやゲーム、工作、はたまた日本史の解説、俳句作り、屋上庭園では皆様と野菜作りと、様々なレクを行っています。昨年より外出レクやクッキングレクと、作業療法士2名の協力により、更に提供する種類をふやしました。紅葉見学や初詣、梅の香りを求めて薬師池公園に出かけ、クッキングレクではたこ焼き作りなども行いました。そんな時の皆さんの笑顔を引き出すことが私の役目と、つくづく思

ます。「レクリエーション」には生きる喜びをもう一度という意味があります。ご入居者様にもそのように感じていただけたら幸いです。ある方が「人の名前が出てこない」と訴えると、皆さんで考え・協力し合う姿は胸が熱くなる思いがします。人との関わりの中で助け合う事で、私たちは新たな力を得ることができます。(右写真=4Fレクリエーションの様子)

